

助産婦雑誌 第47巻 総目次

1993年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集・特別企画

[1月号] 今、産む人の感覚

やさしさをください：酒井幸子，1，9.
出産を妊産婦と援助者の協同作業に——出産体験者による現代出産考：佐々木正子，1，17.
お産をはじめて考える：佐武雅子，1，23.
施設助産婦からみた現代妊婦・助産婦考：相原真弓，1，31.
30人のお母さんに聞きました：徳永瑞子，1，39.
マタニティ雑誌にみる妊産婦の意識と感覚：松木玲子，1，46.

[2月号] 助産婦外来

安全で安心なお産を実現——深谷赤十字病院の助産婦外来：江角二三子・山下恵一・青木淑恵・新井登美子，2，95.
きめ細かい援助で不安を解消——藤沢市民病院の助産婦外来：田中寿賀子・市田眞由美・岩橋節子・小菅興正，2，109.
個室での助産婦外来を実施——津軽保健生活協同組合健生病院の助産婦外来：白浜奈々子，2，118.
正常妊娠，正常分娩はすべて助産婦が——セイントクリニックの助産婦外来：加藤末子・塩津英之，2，126.
妊婦のための助産婦外来をめざして——岩手県立中央病院の助産婦外来：大阪暢子，2，136.
訪ねて楽しい，助産婦外来——三宅医院の助産婦外来：鈴井江三子，2，142.

[3月号] 第2回国際ホームバース会議報告

第2回国際ホームバース会議報告記——オーストラリア・シドニー発：きくちさかえ，3，185.
[座談会] 助産婦と消費者が手を携えてこそ——第2回国際ホームバース会議に参加して：菅沼ひろ子・神谷整子・きくちさかえ，3，190.
[ゲストスピーカーの講演]
助産婦とホームバース——私たちが受けついだものはなにか，私たちの将来はどうなるか：ニッキー・リーブ，3，197.

これからの世代を育てる仕事：アイナ・メイ・ガスキン，3，204.
出産と育児に女性の性的パワーをとり戻そう：ジャネット・パラスカス，3，210.
一般開業医(GP)のホームバースへのアプローチ：ウェンディ・サベッジ，3，214.
家父長的社会システムが出産に与える影響：マースデン・ワグナー，3，217.
レイプのような出産：シーラ・キッツィンガー，3，221.

[4月号] 開業助産婦の新しい風

新しい風が吹き始めた：堀内成子，4，279.
「気」が生き生きする感性のお産——片桐弘子さんの仕事にふれて：河合蘭，4，286.
[座談会] 片桐助産院で働く私たち——出産への視野が広がり深まった：永杉さよ子・小松由枝・及川ひろみ・森洋子・上野藤美・浜口孝子，4，292.
開業5年目，安らかな気持ちで仕事を楽しむ：春日井六実，4，299.
出産の真髄はアクティブ・バースに：鈴木美哉子，4，305.
女性たちの力で助産院ができた：小松とし子，4，311.
がんばりすぎないでしっかり楽しく仕事をする：橋本初江，4，317.

[5月号] 産科診療所の新しい風

ラマーズ法研究会の歴史とめざすもの：林弘平・木村美加，5，361.
「悪いお産」と言われないために——ナチュラルバース，ナチュラルナーシング：栗野利春・水島香苗，5，366.
開院して3年目，助産婦の訪問看護も充実：大草尚・田村一代，5，373.
自然な出産とその援助：久靖男・川村愛，5，378.
さりげない医療監視で満足のいく自然なお産を：宗田哲男・近藤春美，5，384.
「自分の思うお産」をめざす妊産婦を助ける：森岡秀行・樋口三枝子，5，391.

[6月号] 妊産婦の権利と助産婦

[対談] 妊産婦の権利と助産婦：鈴木利廣・横尾京子，
6，439.
妊産婦の権利は守られているか——インフォームド・
コンセントの現実とそのめざすもの：今関節子，6，
445.
バースライツ——良い出産を選ぶ権利：加納尚美，6，
452.
「看護婦の倫理規定」をどう読みとるか：石井トク，6，
457.
妊産婦の人権を守る——南生協病院産婦人科のとりく
み：青山さとみ，6，465.
バイオエシックスからみた産科医療：新野由子，6，
472.

[7月号] 水中出産

ジョン・ラッドクリフ病院の水中出産：高橋浩美，7，
519.
水中出産の文献的考察：久靖男，7，525.
水中出産の実際：瀬井房子，7，531.
水中出産体験者の声：山内孝道，7，536.
[座談会] 体験的水中出産：豊島克・毛利種子・加塚祐
康・井出弓子，7，542.
水中出産用プールについて：高田恵美，7，548.

[8月号] 羊水の重要性和アムニオインフュージョン

羊水の臨床：武久徹・嘉本和恵，8，607.
アムニオインフュージョンの実際：武久徹，8，618.
アムニオインフュージョン実施上の助産婦の役割：嘉
本和恵，8，633.
[座談会] 各施設におけるアムニオインフュージョン
の実際：武久徹・関島英子・宮内真奈美・天野完・
嘉本和恵，8，638.

[9月号] 第23回 ICM 大会

[カラーグラフ] 85 国の参加が実現した国際色豊か
な大会：河合蘭，9，690.
第23回 ICM 大会へようこそ：キャロル・ハード／リ
ンダ・ノックス，9，695.
ICM による助産婦の定義，9，696.
第23回 ICM 大会プログラム，9，697.
第23回 ICM 大会の概要——未来の鼓動を注意深く
聴こう：喜多淳子，9，700.
ICM の組織と動向，9，708.
[インタビュー] ICM 事務局長に聞く——世界の助産
婦に献身する ICM 初の常勤事務局長：Joan
Walker，9，712.
キャロル・ハード ICM 会長による開会式スピーチ
——助産婦よ，言葉より行動を：Carol Hird，9，715.
ICM 大会でのビッグ・トピックス——ブリティッシュ
・コロンビア州の政府が助産婦の法制化を決定，

9，719.

[インタビュー] ブリティッシュ・コロンビア州助産婦
協会会長に聞く——13 年間の努力の結果、私たちは
「助産婦」を勝ちとった：Linda Knox，9，722.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——開業権を手
に入れて3年目、消費者と共に前進するニュージー
ランドの助産婦，Karen Guilliland，9，726.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——世界で最も
高い地位と独立性を保つオランダの助産婦：Filip
pa Lugtenburg／Marion Borkent，9，730.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——神戸大会で
寄せられた日本人助産婦の友情に今も感謝：Phan
Thi Hahn，9，733.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——アラブ社会
の自立を援助するカリブ海出身の国際派助産婦：
Maud Maynard，9，736.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——大会テーマ
を基調講演した英国のリーダー：Leslie Page，9，
739.
[インタビュー] 各国の参加者に聞く——マリー・ゴブ
ラン賞を受賞した復興著しいカンボジアの指導者：
Neang Ren，9，742.
マリー・ゴブラン記念基金について，9，745.
ICM による助産婦の倫理規定，9，746.
大会ロゴマーク解説：安心院祐子，9，748.
[大会印象記] 世界が広がり、今なお興奮中——助産婦
3人組が見た ICM 大会：渡辺喜久子・本道さとみ・
高橋由美，9，751.
[大会印象記] 出会いと今後の連携を大切に：町浦美
智子，9，755.
[大会印象記] 行きはよいよい、帰りはこわかった私の
ICM：佐久間早苗，9，760.
[大会印象記] 大会の内外で多くの学びが：豊田淑恵，
9，764.
[大会印象記] ICM 大会はやはり刺激的でエキサイテ
ィング：加藤和子，9，768.
次期 ICM 大会はノルウェーのオスロで，9，772.
ソーニャ・シュリー ICM 新会長就任のあいさつ：
Sonja Sjoli，9，773.
ライオンズ・ゲート・ホスピタル見学ツアー：安心院
祐子，9，776.

[10月号] 助産診断試験Ⅰ：東京都及び近県助産婦教
育機関教務主任会(1991年度)
助産診断の検討経過，10，787.
助産診断の概念，10，789.
助産診断類型，10，794.
周産期の助産診断類型に対する考え方と試案——妊娠
期の助産診断類型，10，798.

[10月号] 第23回 ICM 大会

ICM 各地域からの活動報告——ICM TRIENNIAL

REPORT 1990-1993 より, 10, 804.
ICM 地域会議の動き: 松本八重子, 10, 809.
ICM/WHO/ユニセフ合同ワークショップについて
——テーマ: 助産婦活動一質のよいケアの実現に向
けての評価と展開: 松本八重子, 10, 812.
[大会印象記] 助産婦の熱い想いは世界共通: 安心院
祐子, 10, 815.
[大会印象記] 日本の助産婦の歴史を評価しよう: 新
野由子, 10, 819.
[大会印象記] 世界の助産婦に喝を入れられた: 浦山
緑, 10, 823.

[11月号] 助産診断試論II: 東京都及び近県助産婦教
育機関教務主任会(1991年度)
周産期の助産診断類型に対する考え方と試案——妊娠
期の助産診断類型, 11, 857.
周産期の助産診断類型に対する考え方と試案——分娩
期の助産診断類型, 11, 863.
周産期の助産診断類型に対する考え方と試案——産褥
期の助産診断類型, 11, 869.
周産期の助産診断類型に対する考え方と試案——新生
児期の助産診断類型, 11, 875.
[座談会] 助産診断の開発にとりくんだ2年間: 青木
康子・大河原シゲ子・山崎トヨ・土岐初恵・水谷喜
代子, 11, 878.
助産診断の開発にかかわって: 曲山さち子・久米美代
子・志村徳子・東野妙子・吉永靖子, 11, 886.
おわりに——助産診断の発展を願って, 11, 891.

[12月号] 病院における完全母子同室
完全母子同室の理論的根拠: 福田雅文, 12, 933.
助産婦に聞いてみました「なぜ母子異室制なの?」: 赤
山美智代・中根直子, 12, 941.
母子同室制を文献から考察する: 福地彰子, 12, 947.
完全母子同室は母と子の絆の第1歩——聖マリア病院
産科のとりくみ: 下川さえ子・大町福美, 12, 953.
完全母子同室の成功は新生児をよく知ることから——
日本赤十字社医療センター産科のとりくみ: 村上睦
子, 12, 959.
大学病院での完全母子同室——長崎大学医学部附属病
院産婦人科のとりくみ: 仲川優子・堀田初江・小川
由美子・東清美・福田雅文・津留陽, 12, 966.
[座談会] 見守って、できないところは手を添えて——
国立岡山病院産科の8年: 神津トミ子・有道順子・
松重泰代・真壁文恵・神原喜美恵・楢原千枝子, 12,
972.

特別寄稿

出生前診断を希望しなかった母親たち——医療者が知
っておくべき心理的側面: 又吉國雄, 2, 150.

分娩監視装置使用上の留意点——助産婦、看護婦の役
割: 嘉本和恵・藤岡典子・橋本美代子・武久徹, 3,
226.
東西統一ドイツの助産婦活動: 松岡恵, 4, 324.
遅発一過性徐脈は胎児仮死のサインか?——胎児心拍
数モニタリング解釈の問題: 武久徹・嘉本和恵, 4,
329.
うさが空を飛んだ——『いのちの記念日』を出版でき
た喜び: 山本文子・田中綾子・青木ノブ子・鎌田千
代子・新田トヨ子・多々羅恵美子・丹生谷成美, 5,
398.
陣痛促進剤の功罪——子宮収縮剤「使用上の注意」改訂
にあたって: 箕浦茂樹, 5, 404.
自然分娩の理論的基礎——オダグ博士の「周産期環境
学」に刺激を受けて: 吉村正・中島まゆみ, 6, 478.
英国の男性助産婦: 松岡恵, 6, 487.
助産婦になりたい: 望月謙吾, 7, 554.
助産診断と看護診断: 松原まなみ, 8, 650.
助産診断の定義と内容: 西脇美春, 8, 656.
低容量ピルの基礎知識: 武谷雄二, 8, 665.
母乳相談を出張で行なう私はドゥーラ助産婦: 棟方富
子, 10, 827.
参加型医療を促進する医療者と妊産婦の周産期情報の
共有: 岸千加子・野村雪光, 11, 892.
フィタル・ディストレスとは何か——特にアムニオ
インフュージョン例における検討: 武久徹・嘉本和
恵・藤岡典子・橋本美代子, 11, 902.
アメリカにおける産科消費者運動のリーダー, ドリ
ス・ヘア: 新野由子, 12, 982.
英国の助産婦業務基準と教育の到達目標——英国助産
婦の保障基盤: 松岡恵, 12, 986.

特別記事

[インタビュー] ミシェル・オダグ博士に聞く——産婦
には、観察されていないというプライバシー感覚が
大切: 九島璋二・神谷整子, 1, 55.
私たちのできること、もう一歩すすめよう!——第7
回日本助産学会学術集会プレコンgress・ミーティ
ング報告: 有森直子・堀内成子, 6, 492.
「胎児と一体の出産をめざすリブ法」を読んで——
「助産婦雑誌」1992年10月号への感想と反論: 朝比
奈順子・菅沼ひろ子・神谷整子・園生陽子, 7, 558.
山内逸郎先生を追悼する——母乳育児推進の道を共に
歩んで: 山谷沢子, 8, 678.
第2回「母乳をすすめるための産科医と小児科医の会」
——母乳育児にかかわる医療者と母親たちとの会を
めざして: 永山美千子, 11, 912.
[インタビュー] 厚生省母子衛生課三薔文雄新課長に
聞く——母子衛生行政にもっと関心と働きかけを:
高橋弘子, 12, 991.

研究・調査・報告

極小未熟児をもつ父親へのアンケート調査：田辺圭子・高橋るみ子・高森志津恵・境武男，1，65。
母性意識の薄い若年助産婦の看護——切迫早産の悪化防止と精神的不安定緩和のための援助：塚田祐美子，2，158。
マタニティ・ブルーの褥婦の看護の留意点：筒井潤子・仲村美津江・奥間美津子・平尾静江，5，410。
手入れの遅れた乳頭の軟化をめざして——SMC方式による乳頭マッサージを中心に：村松理恵子・稲垣宣子，7，568。
退院時の母乳分泌量からみる母乳哺育指導の検討：高木美弥子・中川由紀・長谷部由子，10，831。
母乳栄養を確立するための課題——当院の「母乳栄養に関する実態調査II」から，ユニセフの提言実施に向けて：有本淳子・上杉澄恵・山本浪子，12，998。

今月の話題

エイズ患者の命をこめた語りかけ——ビリー・ハワードはカメラで人間の深遠性をとらえた：飼牛万里，3，238。
陣痛促進剤による被害を考える会主催「安全なお産を求めて」シンポジウム報告：きくちさかえ，3，241。
母性性の発達を援助する看護の役割——第12回日本思春期学会会長を拝命して：前原澄子，7，565。
伝えずにはいられなかった出産直後の声——黄所助産院の感想ノートを出版するまで：河合蘭，10，836。

とらうべ

ネームプレートに「助産婦」を：三岩澄子，1，5。
自然分娩と管理分娩の調和：森川信博，2，91。
文化としての医療：木村快，3，181。
「患者の権利法」をつくろう！：佐々木菜美，4，275。
今，病院勤務助産婦に期待すること：藤田和夫，5，357。
言語明瞭，意味不明瞭：下川浩，6，435。
スクリーニングよりも支援を！：田村雪子，7，515。
バンクーバーのICM大会で刺激されたこと：良村貞子，8，603。
ボランティア，自分のためにやっています：稲毛洋子，10，783。
女性史をとおして見れば：向井承子，11，853。
支え合いじゃうずになろう！：古川裕子，12，929。

クローズ・アップ

「胎児娩出反射」理論から産婦のプライバシー保護を主張するミシェル・オダン博士，1，1。
「いつか親になるために」をテーマに全日本高校英語ス

ピーチコンテストで優勝した大越寛子さん，2，87。
エイズ患者の写真集『おそれずに人生を』の写真家ビリー・ハワード氏，3，177。
オーストラリア，メルボルンの開業助産婦ロビン・トンプソンさん，4，271。
私たちは空とぶうさぎ。『いのちの記念日』を出版したNTT高松病院の助産婦の皆さん，5，353。
日本助産婦会東京都支部豊島区会長になった中村千加子さん，6，431。
8月開催の第12回日本思春期学会会長前原澄子氏，7，511。
日本ソフロロジー法研究会発足のため来日したエリザベット・ラウルさん，8，599。
助産婦合法化に賭けたひたむきな情熱。カナダ，ブリティッシュ・コロンビア州助産婦協会のリンダ・ノックス会長，9，687。
出張訪問で母乳育児支援。「エステル母乳育児相談室」の棟方富子さん，10，799。
大集合。みんな合わせて700人！津軽健生病院の赤ちゃん同窓会：岸千加子，11，849。
実施から8年，根づいています国立岡山病院の完全母子同室，12，925。

私の提言

助産学を学問として成熟させるためには：大関信子，1，62。
一高校生の考える「性教育」：大越寛子，2，156。

私と読書

時代は変わる 周産期医療関係者必読の書——『バースライツ』を読んで：竹村秀雄，1，70。
20版を重ねた「真柄産科学」——『最新産科学——正常編』：横尾京子，7，590。
実践した看護をふり返ることの大切さを実感——『看護のかぎりない深さ』を読んで：木下千鶴，10，840。

私の分娩体験記

私が体験した助産所出産と病院出産：行川有為子，7，576。

ケースレポート

先天性奇形児を出産した母親の心理過程とその援助：戸塚ひろ子・石野綾子・森田真由美・竹内芳子・千恵美・岡田淑子・広瀬良子・糸喜美栄，3，244。

トピックス

日本看護協会調査研究報告 No.40, 1993『病院勤務助産婦の業務と役割に関する調査』刊行される, 5, 423.
「母乳をすすめるための産科医と小児科医の集い」の記録集刊行される, 6, 464.

改正医療法に基づく助産婦の揭示義務及び広告規制について, 7, 524.

世界各地から 2500 人の助産婦が参加——バンクーバーで第 23 回 ICM 大会が開催される, 7, 553.

臨床の場で性を考えるヒントに——月刊「Sexual Science」を創刊して 1 年: 川辺金蔵, 7, 557.

おニューな地球人: きくちさかえ

10. どんな記念日より大切な日, 1, 4.
11. 難民という名の赤ちゃん, 2, 90.
12. パパ! COME BACK!, 3, 180.
13. 赤ちゃんたちの言い分, 4, 274.
14. 平和なお昼寝, 5, 356.
15. エロティックな関係, 6, 434.
16. やっぱり, キスが大好き!, 7, 514.
17. Welcome to U.S.!, 8, 602.
18. 目には見えないエネルギー, 10, 782.
19. トロピカル天然ベビー, 11, 852.
20. 愛してほしい, 12, 928.

ニュース・プラス・ワン: 根本悦子

なし崩しに普及していく代理母出産, 1, 6.
医療現場におけるエイズ検査と人権問題, 2, 92.
育児休業法を育てていくのは私たち, 3, 182.
病院を避ける女性に人気の郵便検診, 4, 276.
論議なしで現実先行の減数手術, 5, 358.
助産婦に男性が登場すれば, 男女の機会均等か?, 6, 436.
赤ちゃんをめぐるマーケットの動向から見えてくるもの, 7, 516.
不妊の妻に社会的な圧力, 子どもを持つ意味は?, 8, 604.
ワーキングマザーも専業主婦も子育てには不安がいっぱい, 10, 784.
女性障害者の「子宮摘出」の背景にあるもの, 11, 854.
共働きの女性にかかる, これだけある負担と差別, 12, 930.

産科免疫学十二話: 梅咲直彦

9. 妊婦と自己免疫疾患(1)——SLE 合併妊婦の病態と管理, 1, 72.
10. 妊婦と自己免疫疾患(2)——甲状腺疾患と ITP, 2,

162.

11. 神様のいたずら, アレルギー——妊娠とアレルギー, アトピー予防の心得, 3, 254.
12. すばらしい贈り物, 母乳——母乳と免疫, 4, 340.
13. 妊娠中毒症と免疫, 5, 416.
14. 免疫学的不妊症, 免疫学的避妊法, 6, 496.
15. 胞状奇胎はなぜ拒絶されないのか——絨毛性疾患と免疫: 7, 582.

お産人探訪

5. 大谷タカ子さん——お産だけでなく育児へ, 生活へとつながっていきたい: 河合蘭, 3, 248.
6. 大牟田喜香さん大牟田智子さん——自然分娩のお助けウーマン: 寺田恵子, 8, 672.

りれー随筆

102. 助産婦教育に携わって: 浅生慶子, 1, 81.
103. われ助産道に行く: 賀久はつ, 2, 170.
104. 皇太子ご婚約と流れる歳月: 伊藤千栄子, 3, 264.
105. ある新聞記事からのメッセージ: 岡本喜代子, 4, 346.
106. 子供たちに自然を返そう: 石塚和子, 5, 424.
107. 先輩から学んだ助産所経営学: 正木かよ, 6, 504.
108. 夢を風にのせて: 頼玲英, 7, 592.
109. 人生いろいろ, 咲き乱れよう: 清洲郁代, 8, 682.
110. やっぱり助産婦が好き! 夢はいつか……: 大久保由賀里, 10, 842.
111. 引き継がれる思い: 多賀佳子, 11, 918.
112. 1993 年暮れに思うこと: 森明子, 12, 1004.

ちょっとサイエンス: 牧智子

カルシウム・パラドックス, 1, 82.
インフルエンザとの闘い, 2, 172.
凍結保存技術が医療を変える, 3, 266.
「気」や超常現象に科学のメスが入る, 4, 348.
猛威をふるったインフルエンザ, 5, 426.
骨折しやすい家族, 6, 506.
脚気はかつて伝染病だった?, 7, 594.
理不尽な痛み, 8, 681.
痛みを測定する実験, 10, 844.
お産と痛み, 個人的体験①, 11, 920.
お産と痛み, 個人的体験②, 12, 1006.

Medical Scope: 島田信宏

分娩時の臍帯動脈血ガス分析(1), 1, 84.
分娩時の臍帯動脈血ガス分析(2), 2, 174.

AFI+NST, 3, 268.

局所性・多発性虚血性脳壊死, 4, 350.

会陰切開縫合糸の話題, 5, 428.

双胎をめぐる新しい話題(1), 6, 508.

双胎をめぐる新しい話題(2), 7, 596.

双胎をめぐる新しい話題(3), 8, 684.

母体死亡と周産期救急システム, 10, 846.

母体から胎児への分娩直前におけるカルシウムの移

動, 11, 922.

パルボウイルスと胎児水腫, 12, 1008.

読者談話室

今あらためて「命の尊さ」を：小山田信子, 12, 1010.

学術・専門書をコピーされる方へ

学術・専門書をコピーする際はまず出版物の奥付をみて下さい。
出版物によって2種類の表示があります。

R <日本複写権センター委託出版物・
特別扱い>の表示がある場合

これは複写に際し権利者がその範囲、期限、利用料などについて個々に特別な条件をつけているという表示です。したがってまず日本複写権センターに連絡してその条件をお問い合わせの上、その都度許諾を得て下さい。条件内のコピーなら許諾されます。

※ あなたが企業などの団体に所属し、その団体が日本複写権センターと複写利用に関し包括許諾契約を結んでいる場合でもこの手続きが必要です。

R <日本複写権センター委託出版物>
の表示がある場合

この出版物は日本複写権センターに許諾を求めれば「頒布を目的とせず、出版物の少部分かつ少部数」の範囲でコピーが許されます。コピー利用料は2円／頁／部に定まっています。なお企業等の団体が包括許諾契約を結んでいる場合はこの範囲であれば個々の契約は不要です。

お問い合わせ先

日本複写権センター事務局
tel.03-3269-5784

(社)自然科学書協会